

「令和7年度 駅前空間の都市機能等向上に係る基礎検討調査業務委託」に係る公募型プロポーザル方式による選定結果について

1 案件名称

令和7年度 駅前空間の都市機能等向上に係る基礎検討調査業務委託  
契約期間 契約日から令和8年3月19日まで

2 選定した委託予定事業者

創遊・高速バスマーケティング特別共同企業体

3 公募期間

令和7年7月22日から令和7年8月22日

4 学識経験者の意見を聴取する選定会議の委員による審査の結果

(1) 選定会議委員名簿（敬称略）

補職名	氏名
関西大学環境都市工学部建築学科 教授	木下 光
和歌山大学システム工学部環境デザインメジャー 教授	佐久間 康富
大阪公立大学大学院工学研究科 准教授	吉田 長裕

(2) 選定会議の開催日

令和7年8月25日

## (3) 審査基準

評価項目		基準		配点		
業務実施体制	実施体制の的確性		同種業務の実績があるスタッフを配置し、業務を確実に遂行できる体制であるかを評価する。		10	30
	管理技術者		同種業務の実績があるか、また、その実績として挙げた業務において中心的、あるいは主体的に参画したかを評価する。		10	
	業務実施計画		実施方針や実施手順の妥当性を評価する。		10	
テーマに対する技術提案	特定テーマ1	合理性	【阪神電鉄淀川駅前の公有地のケーススタディ】 阪神電鉄淀川駅前の公有地における利活用案を条件※1に基づいて提案すること。	提示された他都市事例が、阪神淀川駅周辺の地域特性を踏まえたものであり、その選定の考え方や理由が、阪神淀川駅前の公有地利活用における検討の参考となる合理的なものであるかを評価する。	15	70
		提案力		提案内容が、阪神淀川駅周辺の特性を踏まえたうえで周辺エリアの価値向上に資する優れたものであるかを評価する。	20	
	特定テーマ2	合理性	【OCATウォーク（湊町周辺）の空間再編検討】 OCAT ウォーク（湊町駅前東西線地下歩行者道）の利活用案を条件※2に基づいて提案すること。	提示された他都市事例が、湊町周辺の地域特性を踏まえたものであり、湊町周辺における検討の参考となる合理的なものであるかを評価する。	15	
		具体性		提案内容に具体性があり、湊町周辺の地域特性を踏まえた、実現性を伴ったものであるかを評価する。	20	
合計					100	

## ※1：条件

- (1) 事例調査：郊外部の駅前空間の都市機能向上を図る上で参考となる事例を提示し、その選定理由およびその事例から得るべき知見を整理すること。
- (2) 建築物：対象区域内に設置可能な建築物は、地上1～2階建て（地階なし）を想定すること。
- (3) 事業スキーム：民間活力の活用を前提とし、事業用定期借地権を想定すること。
- (4) 利活用案：公共的な都市基盤である広場（緑地を含む）を提案に含めること。

## ※2：条件

- (1) 事例調査：参考となる他地域の事例を提示し、その選定理由およびその事例から得るべき知見を整理すること。
- (2) ほこみち区域：必要な通行機能を維持した上で、残余空間を道路法に基づく利便増進誘導区域に指定することを想定すること。
- (3) 財源の確保：OCATウォーク全体の持続的な維持管理に必要な財源の確保の方策を提案に含めること。
- (4) 利活用案の提案：上記を踏まえ、当エリアの特性を活かした空間の利活用案を提案に含めること。

(4) 審査を行った事業者

創遊・高速バスマーケティング特別共同企業体

全1者

(5) 審査の結果（委員の評価点の合計点）

評価項目		A者	
業務実施体制	実施体制の的確性	23	
	管理技術者	24	
業務実施計画		18	
テーマに対する 技術提案	特定テーマ1	合理性	29
		提案力	40
	特定テーマ2	合理性	32
		具体性	44
合計		210	